

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2018年1月3日14時30分付け) 全羅南道高興郡の肉用あひる農場における精密検査の結果、HPAI (H5N6 亜型) 確定

出典 URL:

http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155450184§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2018&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部 (長官: キムヨンロク) は、1月1日 (月) にと畜場 (全羅南道羅州市に所在) におけるAI検査においてH5亜型AIウイルスが確認された全羅南道高興郡の肉用あひる農場 (飼育規模: 約8,300羽) について、農林畜産検疫本部が最終精密検査を行った結果、高病原性AI (H5N6亜型) であると確定したことを1月3日 (水) に発表した。
- 農食品部は、高病原性であると確定される前に疑似患畜確認時の先制的な措置として、と畜場を閉鎖して、と畜場内の当該発生農場と一緒にと殺されたあひる (3農場36,700羽) の枝肉を全量廃棄するなどの緊急防疫措置を実施し、
 - ※ この発生農場と一緒に係留と殺されたあひると枝肉の外部搬出なし
- H5亜型遺伝子の確認と同時に強化された防疫措置*を実施して、さらなる拡散を防止するよう措置を講じたと発表した。
 - ※ ①高興郡全ての家きん農場とその従事者の7日間の移動と出入り制御 (措置の延長)、②高興郡全ての家きん飼育農場で精密検査実施、③高興郡に所在する伝統的生鳥市場での流通禁止 (既措置)